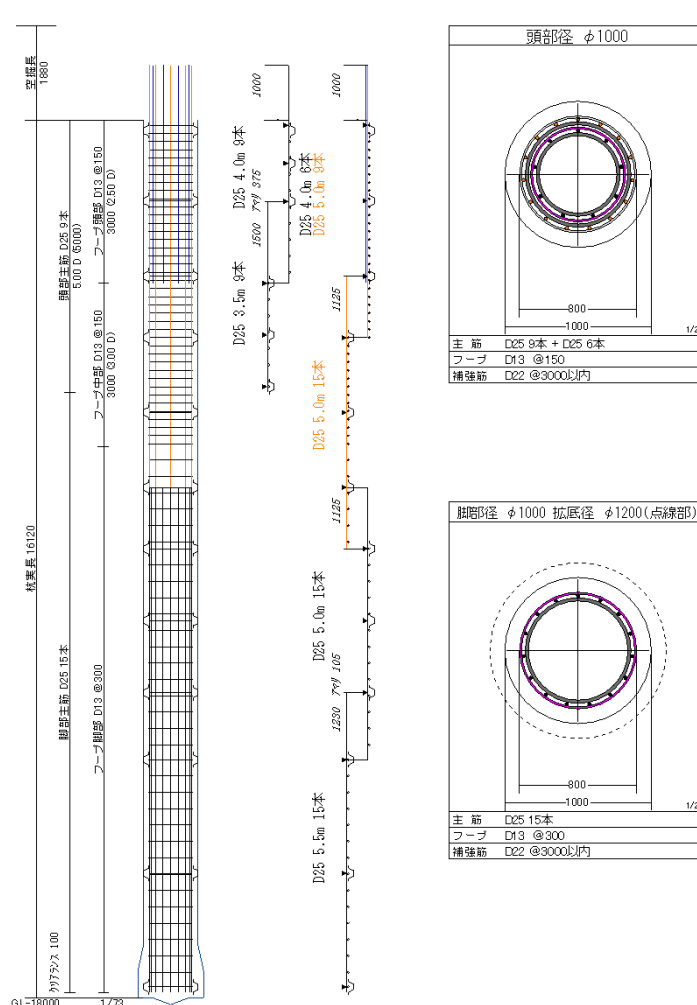


サブコンシステム

機能と概略

日々複雑になる図面に対応
見積り、打ち合わせ、現場での指示、これらに対応する多様な印刷出力
探し求めていた機能がここにあります
場所打ち杭業者には必須のパソコンソフトです

ここでは代表的な機能の設定画面を案内しています。
「おためし版」を作動させマウスを動かせばこの高機能を実感することができます。



「類似↓」クリックで同名の物件を検索表示。

設計変更などで物件を新規コピーした場合などその履歴が順次並ぶ

鉄筋カットリスト、物件選択・新規登録

もどる 最新現場登録状況 最新データ整理 ヒット件数 2件 2件分 印刷開始 プレビュー

検索時、「物件名」もしくは「元請名」の左からの同一文字数 6文字 検索対象文字= サンプルマン
登録日を基準に並び替え(ソート) しない

	番号	未	認	新旧	ジャンプ	第2物件名	杭種	本数	見積	登録日
1	5	C			サンプルマンション	B棟	3種	9本	見積	2-03/25
2	4		OK		サンプルマンション	A棟	4種	12本	見積	1-11/24

新規物件登録はここから開始

登録物件は番号順もしくは最新の参照物件の順で表示

登録可能物件数は3000まで拡大可能

鉄筋カットリスト、物件選択・新規登録

もどる 20行表示 最新の物件から表示 物件内容一覧 物件集合 全体事項設定 データ格納先 d:\サブコンサンプルデータ
番号順に物件を表示 仮想在庫物件 表示リセット 登録可能物件数 20

データ消去 検索 番号指定 新規登録 No.8 80種タイプ

類似↓	未	認	新旧	物件名(ジャンプ)	第2物件名(右クリックで着色)	種類	打設	内容	登録日
5	C			サンプルマンション	B棟	3種	9本	補拡TB	2-03/25
7				大阪淀橋新築		1種	1本	補	13/09/14
2		済		拡張各種		30種	30本	補拡	1-06/13
4		OK		サンプルマンション	A棟	3種	9本	た補S拡TB内	1-11/24
3	C	注		東京駅新築		1種	1本	補	09/10/14

この部分にチェックを入れると印刷物の右上に注意文字が表示されるので、間違いや誤解を未然防止できる

集計過程の履歴を記録可能

3 入力状況確認チェック 東京駅新築

もどる 印刷開始 プレビュー プリント設定後印刷 [OFF]

用紙方向 横 外枠 必要 文字サイズ 11ポイント
太字 [OFF] 斜体 [OFF] 印刷基点 Y 20mm 色 [] 書体 MSゴシック

注意事項 (全角750文字まで。物件名入力ページと共通) 下記入力は「Enter」で確定する必要はない

- H25.5.18 本図面受け
- H25.7.10 田村さんよりリネーシング3m設定(もともと3mだった) 巻き損じ増やす 補強筋FB124100+D22→FB9*75+D22(φ1100のみ) (FB9*75のみ)へ
- H25.7.18 同じ番号でスペーサー高さ122→199 定着45d→45d+100
- H25.7.30 変更図面受け 杭先端変更 杭リストは杭頭より100上がったところにも杭頭印があるが頭部は5mで定着長さのみ100+のままよい(田村さんより)
- H25.8.21 変更図面受け→変更なし 定着45d+100→45dのみへ戻す
- H25.8.26 杭頭部に継手を設ける場合は継手45d×1.5へ変更
- H25.8.27 継手分軸部に延ばす長さを45d×1.5→45dへ
- H25.8.29 継手2mm追加して訂正

全角50字まで 共通初期次元で事前の文字設定が可能

鉄筋データ使用レベル
前回変更日 07/02/18 16:01

無表示
済 ①「確認済み」印刷表示 [OFF]
ok ②「使用OK」印刷表示 [OFF]
? ③「疑問点有り」
禁 ④「使用禁止」
未 ⑤「未入力有り」
注 ⑥「使用注意」
再 ⑦「再確認必要」
文 ⑧「指定文字列」 [] を使用
⑨～⑩の場合は必ず印刷表示される
見 ⑩「見直し使用」印刷表示 [OFF]

鉄筋データ使用レベル変更記録
今回 07/02/18 16:01 注
1前回
2前回
④

この画面で拾い出しを入力すれば、見積り段階での集計は可能

チェック機能・・・入力ミスや全体に渡る統一性などをチェック

322 杭仕様 (仮称)橋本様マンション新築工事 2011/02/03コピー

もどる 集計 印刷 **チェック未** 共通初期 物件名 見積書 一気変更 [その他1] [その他2] 補強筋検討 表示持高さ(5行分) 文字ポイント 11.0ポイント バーの色 全表示 ON セルの高さ 61mm

削除 コピー 行挿入 杭種追加 入力状況

5種	組立	目的別	杭名	拡頭	軸径	拡底	耐震	打設数	参照	籠数	掘削長m	杭実長m	空掘長m	サイズ	本数	サイズ	本数	表示	印刷	ロス率	含
1	組立終了	P1			1000	1200		2本	◎	4	18.000	16.120	1.880	D25	9本	D25	15本	◎	◎	28.774	2
2	組立終了	P1			1000	1200		2本	◎	3	18.000	16.120	1.880	D25	30本	D25	15本	◎	◎	28.778	2
3	組立終了	P1			1000	1200		2本	◎	4	18.000	16.120	1.880	D25	30本	D25	15本	◎	◎	34.431	3
4	組立終了	P1			1000	1200		2本	◎	4	18.000	16.120	1.880	D25	30本	D25	15本	◎	◎	28.778	2
5	組立終了	P1			1000	1200		2本	◎	4	18.000	16.120	1.880	D25	30本	D25	15本	◎	◎	28.778	2

断面図、組立図は常に表示され、間違いやカン違いを未然に防止。

断面詳細

鉄筋別の断面も参照可能。

322 補強筋位置関連データ (仮称)橋本様マンション新築工事 2011/02/03コピー

もどる <<> 5 PI φ1000 16.120m 2本 組立図

補強筋位置関連データ かぶり100mm 外周→フープ外

	1筋1番	1筋2番	1筋3番	
1				
2	取付け位置	外周直径	外周直径	
3	フープ	D13	D13	D13
4	第1補強筋(主筋側)	D22 674mm	D22 674mm	D22 724mm
5	第2補強筋(内側)			Mu(4) Mu(131)
9	「主筋」	D25*30本	D25*30本	D25*30本
10	プラス主筋			
11	さし筋1			
12	さし筋2			
14	頭部差し筋1	D25*10本	D25*10本	
15	頭部差し筋2			
17		計40本	計40本	計30本
18	分割数	35分割	35分割	35分割
27	たばね状態	2本たばね垂直	2本たばね垂直	シングル
35				Mu(29) HO23(i,j) 実行分割数 Mu(48)=HO8(i,j) 実行再分割 Mu(56) HO22(i,j)

主筋径は通常の2倍で表示 注: 差し筋部分から外れた場合、主筋は再分配される。差し筋は下記断面

第1筋 頭部

第1筋 頭部

補強筋と接する主筋や差し筋が集計され、断面が計算される

組立図は常に表示可能

最終吊り上げ重量は常に確認

+45 d、範囲外余長機能

頭部主筋数の指定機能

ダブルクリックで拡大・ドラッグで画面移動

No 2 P1 φ1000

D25 8.5m 30本

D25 5.5m 15本

D25 5.5m 15本

1000

1125

1366

230

6000 + 45d

7.500

5

4.375

10

4.146

15

杭底クリアランス 1/72

100

正味1基分 2.034t

322 主筋設定 (仮称) 橋本様マンション新築工事 2011/02/03コピー

もどる << >> 2 P1 φ1000 16.120m 2本 組立図 5断面設定

材料

組立

主筋

フープ

補強

スベーサ

一般

枕底

SP

拡張

耐震

追加

たばね

頭差

アラ

分割ラ

一気

注意書

アンカー 40.00d 飲み込み長 0mm 主筋頭部 6.000d 範囲外余長 45.00d 主筋中部 0.000d 0.000m

余長は頭部に 入れない

頭部さし筋 しない

+余長部分は脚部本数

頭部は1筋

頭部は2筋

頭部は3筋

無指定

1筋のみで組立

頭部主筋 D25 30本 + 0本

中部主筋

脚部主筋 D25 15本 + 0本

枕底クリアランス 100mm

頭部のあまりは 下に伸ばす

最終主筋の短筋使用 しない

アマリを切断長とする OFF

特定ラップ長指定 OFF

空振り長 振刷長 枕実長 飲み込み長 杭底クリア

頭部範囲 脚部範囲

鉄筋組立開始長 0mm

主に使用する主筋長 5.0

+

-

フック及び差し筋

アンカーゼロでGL マイナスで始まる芯鉄筋に対応

指定鉄筋のラップ長を指定する。
この機能でネジコンにも対応。

特定ラップ長指定											
2筋	3筋	4筋	5筋	6筋	7筋	8筋	9筋	10筋	11筋	12筋	
通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常
OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff	OnOff
最終筋ゼロミリ指定											OFF
											全ゼロミリ
											全通常

フープ断面は主筋断面との別設定も可能

フープ10断面の機能もあり

322 フープ (仮称)橋本様マンション新築工事 2011/02/03コピー

φ1000 16.120m 2本 組立図

再計算 フープ、その他の設定 フープ10断面 フープ取付け詳細

フープラップ長 40.00d 共通使用

第1筋の第1フープ取付け開始位置 100mm アンカー部分からの取付はマイナス入力

カゴごと先端に取り付け 無

組み立て時均等ピッチに しない

自動カット ON 3.4m 以下は1/2カット

手動入力カフープ OFF 3.4m 以下の材料長は1/2カット 手動入力カフープは20種以内

自動カット 3.4m 以下は1/2カット

杭の最終フープ、先端より 100mm

カゴごとに、フープを強制加算 しない

ピッチは固定 OFF フープ断面変化部分も指定ピッチを維持

フープ直径の基準点 外径 (かぶり=外径→フープ外)

計算時、直径の取り方

	サイズ	フープ長(π=3.141593)				使用本数				使用鉄筋材料				
		直径	円周	ラップ長	計算長	取付個所	必要数	強制加算	最終必要数	カット	材料長	鉄筋本数	巻損追加	最
頭部	D13	800	2513	520	3033	45	90	0	90	2	6500	45	0	
中部	D13	800	2513	520	3033	0	0	0	0	2	6500	0	0	
脚部	D13	800	2513	520	3033	30	60	0	60	2	6500	30	0	

*頭部主筋はすべて頭部サイズフープ指定

スパイラル対応

指定重量での分割
長尺物の均等分割

複雑なフープ指定に対応

322 フープ (仮称)橋本様マンション新築工事 2011/02/03コピー

φ1000 16.120m 2本 組立図

Fp10断面

フープの自動取付けは 通常

第1筋の指定区間 フープ設定を変更する OFF

図面表示では50ミリずれた位置に1本表示。
杭の第1フープ、2本取り付け OFF
杭の最終フープ、2本取り付け OFF

開始部分、別種フープ取付 OFF
1番フープより50ミリ間隔で手動フープとして取付。

杭先端部分、別種フープ取付 OFF
先端フープより50ミリ間隔で手動フープとして取付。

フープの取付け範囲を指定 しない

スペース取付けフープ OFF
材料の別集計 OFF 取付設定

取付本数は変化なし ピッチが倍になる
頭部フープ束ねる OFF
図面でのフープ表示間隔、直径の 3倍

フープ断面が主筋の開始、終端から???mm
以内はフープサイズは変更しない 0mm
判定はその指定位置のフープ断面。ピッチ変更はしない。

頭部及び拡頭部主筋に取付けるフープは
すべて頭部フープにする
サイズのみ強制変更、ピッチは変更なし

スパイラルフープ ON スパイラル、頭中脚を区別しない

スパイラル詳細設定

長尺材料を均等分割 OFF 分割設定

重量による分割 OFF

片側加算巻き数 0.0巻

材料長単位 1.0m

フック曲げ OFF

材料	長さ	本数	打設本数分(2本)のフープ材料
1 D13	38.00m	4	
2 D13	114.00m	2	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

各段の取付け本数は「Fp10断面」で確認

断面別にサイズとピッチを指定可能

補強筋長さ(元=3.141593)

補強筋	位置	サイズ	直径	円周	ラップ長	2分割	計算長	取付箇所	必要数	カット	材料長	鉄筋本数	巻損追加	最終本数
第1補強	頭部	FB9*60	724	2274	300	OFF	2575	5	10	1	3000	10	0	10
	中部	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	脚部	FB8*44	724	2274	300	OFF	2575	6	12	1	3000	12	0	12
第2補強	頭部	D22	706	2217	300	OFF	2518	4	8	1	3000	8	0	8
	中部	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	脚部	D22	708	2224	300	OFF	2524	6	12	1	3000	12	0	12

深層堀など材料長を1/2で計算する機能

FBの使用材料長の指定

形状保持筋設定

補強筋取付けカット筋

FB補強筋、使用可能な材料長を指定 | する | 5.50m | 6.00m | 0.00m | 0.00m | この物件で共通使用 | 1/3まで強制自動カット | OFF

第2補強筋自動取付 ON

第2補強筋ラップ長 | 300mm | 第2補強筋サイズ | D22

第1補強筋ダブル設定 | 第2補強筋ダブル設定 | しない

カット筋のサイズは主筋より1ランク下げる

指定されたカット筋1本の長さ | 300mm | カット後の長さ | 300mm | カット数 | 20カット | カット元の材料長 | 6.000m

取付	位置	取付本数	総本数
1	100	D22-9	18
2	1486	D22-9	18
3	2672	D22-9	18

FBの内側にDを入れる、第2補強筋の機能

特定場所への強制取付けも可能

319 スペーサ設定 (仮称)橋本様マンション新築工事

もどる << >> 7 **PI** φ1000 △ 16.120m 2本 組立図 カラー設定:スペーサ

材料
組立
主筋
フープ
補強
スペーサ
一般
杭底
SP
拡張
耐震
追加
たばね
開差
アラ
分割ラ
一覧
注意書

スペーサ自動取付 実行中
この杭種で主に使用するタイプ A h=90mm FB4.5*50
通常面取付け個数 4個
取付けピッチ 300mm
第1スペーサ位置 200mm **第1スペーサのみ補強筋とは相違**
通常カゴ取付け開始位置 0mm
補強筋と同位置に取付 同位置取付 頭、中、脚、個別の自動設置 OFF
取付け単位 -----
既製品 or 現場作成 既製品
主筋ラップ部分のみ? -----
取付け場所? 主筋取付
フープとの関係 -----
杭の先端スペーサ 有無 ----- 先端部より -----
重量算入 する 拡張時最終スペーサ 有り

第1筋
<< >> リセット

位置	タイプ	個数	高さ
1	0	A 4	90
2	200	A 4	90
3	2486	A 4	90
4	4872	A 4	90
5			
6			
7			
8			
9			
10			

取付け位置 999mm で取消し

スペーサ、強制取付け1
鉄筋番号 取付位置 タイプ 取付個数
ON 1筋 0mm A 4個
OFF
OFF 終端から上

スペーサ、強制取付け2 [OFF]
第1筋まで
一番上のみ
頭部所居の主筋のみ
Aを 4個取付

マーク	使用材	高さ	材料別 取付け個数	追加個数	第1筋	第2筋	第3筋	第4筋	合計
A	FB4.5*50	90mm	104	0	4	3	3	3	13
B	FB4.5*50	100mm	0	0	0	0	0	0	0
C	FB4.5*50	100mm	0	0	0	0	0	0	0
D	D16	90mm	0	0	0	0	0	0	0
E	D16	100mm	0	0	0	0	0	0	0
F	FB4.5*50	100mm	0	0	0	0	0	0	0
G	FB4.5*50	100mm	0	0	0	0	0	0	0
H	FB9*100	100mm	0	0	0	0	0	0	0
I									

スペーサ詳細設定 印刷時カラー表示 OFF スペーサ線幅 0.01mm

A FB4.5*50 h=90mm L=400mm W=0.708Kg	B FB4.5*50 h=100mm L=480mm W=0.85Kg	C FB4.5*50 h=100mm L=480mm W=0.85Kg
D D16 h=90mm L=395mm W=0.616Kg	E D16 h=100mm L=446mm W=0.696Kg	F FB4.5*50 h=100mm L=585mm W=1.035Kg
G FB4.5*50 h=100mm L=510mm W=0.903Kg	H FB9*100 h=100mm L=100mm W=0.706Kg	I FB4.5*50 h=100mm L=490mm W=0.867Kg

赤線が溶接部

注意
登録スペーサは、この物件
No319. (仮称)橋本様マンション新築工事
の全杭種で共通使用される。
杭種ごとの設定はできない。

使用種類を18種に変更可能

スペーサ別に高さ、使用材、など変更可能

CD用半円タイプ

無溶接用引っ掛けスペーサ

中心位置保持用スペーサ

319 スペーサの詳細設定 (仮称)橋本様マンション新築工事

もどる **スペーサ使用種類18種に変更** 注意 下記スペーサは、対象物件の全杭種で共通使用される杭種ごとの設定はできない。

A FB4.5*50 h=90mm L=400mm W=0.708Kg
B FB4.5*50 h=100mm L=480mm W=0.85Kg
C FB4.5*50 h=100mm L=480mm W=0.85Kg
D D16 h=90mm L=395mm W=0.616Kg
E D16 h=100mm L=446mm W=0.696Kg
F FB4.5*50 h=100mm L=585mm W=1.035Kg フックは下
G FB4.5*50 h=100mm L=510mm W=0.903Kg
H FB9*100 h=100mm L=100mm W=0.706Kg 赤線が溶接部
I FB4.5*50 h=100mm L=490mm W=0.867Kg

FBを曲げる通常タイプ

A Aのバターン変更 作成時のイメージ

使用材料 FB4.5*50

材料必要長 400mm

L0=216
L1=90
L2=400
L3=287
L4=50
L5=100
L6=100
L7=64.15
L8=44
L9=1

継ぎ手部分、補強筋やフープの詳細設定可能

主要拡底メーカーの体積表
を取り込み済み

継ぎ手は下記のタイプから選択

頭中脚で分割数を自由に設定

	主筋サイズ	主筋本数	主筋あき	補強筋外周長さ
頭部	D25	30	80mm (3.20d)	101mm
中部	----	----	----	----
脚部	D25	15	87mm (3.48d)	108mm

たばね用カット筋
補強取付けカット筋との共用設定も可能

主筋は補強筋を挟む

ダブル水平取付け

通常は頭中脚の3断面、5断面はAからDまでの5断面の設定が可能

断面の最終深度を入力する

その断面の主筋サイズ、本数、通し筋の段数を入力

5断面 ON 自動組立実行 PDF 説明書

断面データ入力 (不要の場合は空白を入力)

断面名	終端深度	サイズ	本数	範囲長	鉄筋数
1 A断面	0~10.000m	D25	40本	10.000m	1筋
2 B断面	~20.000m	D25	35本	10.000m	2筋
3 C断面	~30.000m	D25	30本	10.000m	3筋
4 D断面	~40.000m	D25	25本	10.000m	2筋
5 E断面	~杭長(50.000m)	D25	20本	10.000m	1筋

あまり処理は 下に伸ばす
 組立の自動チェック ON
 アンカー 飲み込み長 40.000m + 0mm
 100.000mm
 拡張部は 3段 (処理番号=10) 設定杭変長より 切筋長の表示 OFF
 杭底クリア 100mm オバーの場合 切筋長0mm
 鉄筋組立開始長 0mm (芯鉄筋) 杭長オーバー部分補強フープを 付けない
 主筋ラップ 45.00d 上階サイズ使用 下階サイズ使用
 第1筋の切筋長表示 切筋長0d 上に表示

手動組立は下記数値を調整。主筋材料は下記から算出。

所属	マウ	ラップ長mm	サイズ	長さm	本数	取消	サイズ	長さm	本数	取消	サイズ	長さm	本数	所属断面
1筋	A	→	1000mm	D25	11.00m	40本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	頭部フープ
2筋	B	→	1125mm	D25	6.50m	35本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
3筋	B	→	1125mm	D25	6.00m	35本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
4筋	C	→	0mm	D25	3.50m	30本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
5筋	C	→	1125mm	D25	4.50m	30本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
6筋	C	→	1125mm	D25	4.00m	30本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
7筋	D	→	1125mm	D25	6.50m	25本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
8筋	D	→	1125mm	D25	6.00m	25本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
9筋	E	→	1350mm	D25	11.00m	20本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ
10筋	E	→	0mm	D25	0.00m	0本	X	0.00m	0本	X	0.00m	0.00m	0本	脚部フープ

断面チェック

A断面 10.000m D25 40本
 B断面 10.000m D25 35本
 C断面 10.000m D25 30本
 D断面 10.000m D25 25本
 E断面 10.000m D25 20本

1筋 D25 11.00 40
 2筋 D25 6.50 35
 3筋 D25 6.00 35
 4筋 D25 3.50 30
 5筋 D25 4.50 30
 6筋 D25 4.00 30
 7筋 D25 6.50 25
 8筋 D25 6.00 25
 9筋 D25 11.00 20
 10筋 D25 0.00 0

A断面 拡張部 φ1600 主筋あき 81mm
 B断面 拡張部 φ1600 主筋あき 60mm
 C断面 拡張部 φ1200 主筋あき 74mm
 D断面 拡張部 φ1200 主筋あき 84mm
 E断面 拡張部 φ1200 主筋あき 124mm

主筋分割ラップ (指定本数分、ラップ位置をずらす)

主筋分割ラップ機能 作動中 印刷設定

主筋分割数 2分割

主筋本数を2~6分割し、ラップ位置をずらす場合、この機能を使用。差し筋は解除。差し筋とは考え方が違うので注意。アンダーラインが引かれたものに付いては変更できない。

	1筋 - 頭部	2筋 - 脚部	3筋 - 脚部	4筋 - 脚部													
	計算杭長	ラップ長	サイズ	長さ	本数	ラップ長	サイズ	長さ	本数	ラップ長	サイズ	長さ	本数	ラップ長	サイズ	長さ	本数
組立A	16.020m	1000	D25	7.00m	22本	1125	D25	5.00m	10本	1125	D25	5.00m	15本	1230	D25	3.50m	15本
組立B	8.875m	1000	D25	6.00m	8本	1125	D25	5.00m	5本	0	0.00m	0本	0	0.00m	0本	0.00m	0本

断面チェック

頭部範囲 8.000m D25 30本
 脚部範囲 D25 16本

確定補強筋 取付け可能範囲

A 1000 D25 7.00 22
 4875 6000 D25 5.00 10
 8750 9075 D25 5.00 15
 12620 13760 D25 3.50 15

B 1000 D25 6.00 8
 3875 5000 D25 5.00 5

確定補強筋の取付け可能位置が表示される。

319 杭別設定、耐震杭 (仮称)橋本様マンション新築工事

もどる << >> 6 *PI* φ1000 16.120m 2本

材料
組立
主筋
フープ
補強
スベーサ
一般
杭底
SP
掘頭
耐震
分割
追加
たばね
頭差
アラ
分割ラ
注意書
体積

耐震杭 実行 << 狭 広 >> リセット << ズーム 180% >> 1/200

鋼管設定 内定着筋1 内定着筋2 補強筋3 スベーサ4 外定着筋1 外定着筋2 スタッドパイプ 鋼管スベーサ 鋼管継ぎ手 SR杭

掘削長 18.000m 鋼管外径 1000mm 鋼管の色
 杭実長 16.120m 鋼管部掘削径 鋼管径 + 200mm
 鋼管長 6.000m 6.00D
 鉄筋部杭実長 10.120m 鋼管部掘削長、鋼管頭部より 鋼管掘削部の色
 - 鉄筋長自動調整 - 6.000m 6.00D + 0mm GL-7.880m
 + - 鋼管終端より鉄筋部開始
 鋼管厚さ 12.00mm
 材質 SKK400 ?
 工法1 同時建て込み ?
 工法2 STBC-SR ?
 工法、材質は直接変更可能
 リブ付き鋼管重量 1.752t/本 鉄鋼重量ハトケツより 292Kg/m
 付属物重量 0.322t (建込時、正味1本)
 鋼管分割 OFF
 「鋼管部掘削径」部分の体積
 掘削土量は そのまま算入
 生コン量は そのまま算入

319 杭底筋 (仮称)橋本様マンション新築工事

もどる << >> 7 *PI* φ1000 16.120m 2本

材料
組立
主筋
フープ
補強
スベーサ
一般
杭底
SP
掘頭
耐震
分割
追加
たばね
頭差
アラ
分割ラ

杭底筋 有

使用材料サイズ D25 イゲタ
 鼻曲げ 0mm .00d
 0.64m 8本必要
 使用材料 4.00m 1/6カット
 2基分で 4.00m 2本使用 + 0本
 「杭底筋」として、別集計 する

No.818 2011/2/3 2547-

重量は小数点4桁以下切捨て表示

品名	長さ(m)	本数	重量(t)	摘要
D13	3.00	16	0.047	
D13	4.00	146	0.581	
D13	5.00	97	0.482	
D13	5.50	18	0.098	
D13	6.50	355	2.295	
D22	3.00	20	0.182	
D22	4.50	17	0.232	
D22	5.50	42	0.702	
D22	6.50	17	0.335	
D25	2.50	60	0.537	
D25	3.50	208	2.897	
D25	4.00	2	0.031	杭底筋使用
D25	4.00	60	0.955	
D25	4.50	30	0.537	
D25	5.00	275	5.472	

同じ材料が計算されても、「杭底筋使用」として区別して印刷される。

ダブルクリックで拡大・ドラッグで画面移動

No.1 P1 φ1500

Uボルト算出 (仮称) 綱島西1丁目共同住宅新築工事

Uボルト専用機能

材料	全 ON	全 OFF
組立		
主筋		
フープ		
補強		
かぶり		
一般		
抗底		
SP		
抗張		
抗剪		
耐震		

Uボルト	Uボルト
杭別確認	取得実行
1 水平 P1	264 杭別→Go ON
2 たばね P2	420 杭別→Go ON
3 〓 P3	1 杭別→Go OFF
4 〓 P3A	0 杭別→Go OFF

Uボルト集計表 (追加を含む個数)

主筋	サイズ	たばね	個数
1	D29	シングル	144
2	D29	たばね水平	180
3	D29	たばね	360
4			684

Uボルト追加

主筋	サイズ	たばね	個数
1			0

歯抜け箇所の計算条件 **物件すべての杭に適用**

シングル、歯抜け部分 Uボルト無し
ダブル水平、奇数部分 1本用のUボルト

算出範囲・条件 物件内統一
杭種別に設定

- 全ヶ所算出
- 頭部通し筋のみ算出
- 頭部と中部の通し筋のみ算出
- 第1番補強筋まで算出
- 第一補強がFBoRの部分のみ算出

Uボルト集計表

番号	主筋 サイズ	たばね 状態	使用 個数
1	D29	シングル	144
2	D29	たばね水平	180
3	D29	たばね	360
			684

全体もしくは杭種別に設定可能

杭種別の取り付け状態を確認可能

962 杭種別Uボルト使用数 (仮称) 綱島西1丁目共同住宅新築工事

補強筋位置関連データ かぶり100mm 外周→フープ外

1筋	1番	2番
1	100	1527
2	内・外	内
3	内	内
4	フープ	D13 (FP頭部) D13 (FP頭部)
5	主筋	D29-37 D29-37
6	主筋構成	37 37
7	たばね状態	たばね水平 たばね水平
8	分割数	22 22
9	歯抜け数	7 7
10	シングル	7 7
11	ダブル	
12	ダブル水平	15 15
13	3たばね	
14	4たばね	
15	Uボルト	
16	第一補強	サイズ・w取付 D22 D22
17		直径 1216 1216

歯抜け箇所の計算条件

シングル、歯抜け部分 Uボルト無し
ダブル水平、奇数部分 1本用のUボルト

P1 打設本数(3本)分のUボルト

主筋	サイズ	たばね	個数
1	D29	シングル	84
2	D29	たばね水平	180
3			264
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

物件内統一 算出範囲・条件

- 全ヶ所算出
- 頭部通し筋のみ算出
- 頭部と中部の通し筋のみ算出
- 第1番補強筋まで算出
- 第一補強がFBoRの部分のみ算出

主筋径は通常の2.0倍で表示 歯抜け主筋表示 OFF

1筋 1番
D29 シングル 7個
D29 水平たばね 15個

1筋 2番
D29 シングル 7個
D29 水平たばね 15個

第1筋 頭部

間違い防止、データロック機能

現在の物件データを新規番号にコピー
設計変更の場合この機能を使うと便利

内カゴ、外カゴ
拡頭、内カゴ、外カゴ
拡頭 2重カゴ

319 その他設定1

現在データ変更は できる できない (データロックの設定)

杭種別ロック 不可 可

新規コピー
実行 323番のエリアに、現在319番のデータをコピーし、323番に移動します。

印刷時の文字変更

補強筋 → 補強筋
フープ → フープ
頭 → 頭部
中 → 中部
脚 → 脚部
シフト用予備 → L4
外定着筋(内側取付) → 外定着筋(内側)

主筋の、本数、サイズ、長さ、の表示タイプ D25 4.5 11 D25 4.5m 11本 11-D25 4.5 11-D25 4.5m 11-D25 L=4.5m

主筋本数は自動計算 しない する

基準地盤面の表現 例、(GL FL SGL 海拔) しない する
基準レベルに施工地盤面を使用 しない する
基準地盤面の位置 0.000m しない する

拡頭しない場合、拡頭欄に文字表示 しない する

ログ 初期登録日 2011/01/18 15:47:09 使用バージョン 10-1125
第二コピー回数 0 管理番号 1116-
第二コピー日時 0:00:00

外カゴ、内カゴ、登録
外カゴを指定すると、1行追加され、次の杭種が内カゴになる。杭種は1種増える。
必ず内外のセットで登録され
内カゴの 杭名、軸径、打設本数、空堀長 は、外カゴと同じものになる。
内カゴの掘削長は強制変更される。(土量計算には影響しない。)
内カゴのカブリは杭の外径から。

外カゴが拡頭の場合
内カゴの杭径は外カゴの拡頭径を当てる。

★★第 [?] 種目 を外カゴに登録する。
第 [?] 種目 の外カゴを解除する。

カゴ指定	杭名	軸径	軸径	かぶり	頭部長	杭長さ	掘削長
1	外カゴ P1	----	1000	100	5.00D (5.00m)	16.120m	18.000
2	内カゴ P1	----	1000	175	0.00m (0.00D)	5.000m	(6.880)
3	内カゴ P1	----	1000	100	6.00m (6.00D)	16.120m	18.000
4	拡頭内カゴ P1	----	1000	100	6.00m (6.00D)	16.120m	18.000
5	拡頭外カゴ P1	1200	----	100	0.00m (0.00D)	6.000m	(7.880)
6	P1	----	1000	100	6.00m (6.00D)	16.120m	18.000
7	P1	----	1000	100	6.00m (6.00D)	16.120m	18.000
8	P1	1500	1000	100	6.00m (4.00D)	16.120m	18.000

ここでは、内カゴのかぶり、杭長、が設定可能。

★★第 [?] 種目 を拡頭内カゴに登録する。
第 [?] 種目 の拡頭内カゴを解除する。

拡頭内カゴ登録できるのは拡頭杭のみ。
拡頭内カゴを指定すると、1行追加され、次の杭種が外カゴになる。杭種は1種増える。
拡頭掘削長、スタンドがけは外カゴの掘削、SPページで入力。
かぶりは外カゴ内カゴそれぞれの杭径で別設定可能。
体積計算は内カゴの杭種で仮想拡頭として計算。「一般事項」のページ参照。

印刷時の文字表現を変更

鉄筋材料を材質別に集計
同じDに5種の材質が追加される

別物件として集計した、他の物件データを追加
別機能で物件集合の機能もあり

581 その他設定2

鉄筋の材質別
材質別に集計される
一度「ON」にすると「OFF」には戻れない。
D6~D51で使用可能。
従来の鉄筋D6~D51はここで指定せずに使用可能。
共通初期での材質表示とは別機能。
材質別に集計される。
表示方法は従来のサイズに指定材質が連続表示。
例 D16-SD395A

材質別 OFF ON

1 dddaaa
2 SD-295B
3 SD-345
4 kkiujhy
5 SD-395

ウルボン材、呼称変更 しない する

U64 ⇒ U64
U71 ⇒ U71
U90 ⇒ U90
U107 ⇒ U107
U126 ⇒ U126
U151 ⇒ U151
U171 ⇒ U171

フープ「S」規格選択 OFF ON

空堀長の表現 空堀長 しない

現在の物件に他の物件データを追加
追加物件選択

シングル配筋の場合仮想ダブルを可能にする OFF ON

フープ断面名、主筋断面名とは別に しない する
主筋断面名とは別にフープ断面名を使用する。
フープ10断面設定の場合は10断面の画面で断面名を設定。
「フープ」の文字は「その他1」の画面で設定の事。

(フープ) 頭部 →
(フープ) 中部 →
(フープ) 脚部 →

集計表

鉄筋集計結果									
品名	長さ(m)	本数	重量(t)	摘要	品名	長さ(m)	本数	重量(t)	摘要
D13	3.00	16	0.047		D25	11.00	60	2.626	
D13	4.00	146	0.581		FB4. 5*50	ｽﾊﾟｰｻ	632	0.447	h=90 既製品
D13	5.00	97	0.482						
D13	5.50	18	0.098						
D13	6.50	355	2.295						
D22	3.00	20	0.182						
D22	4.50	17	0.232						
D22	5.50	42	0.702						
D22	6.50	17	0.335						
D25	2.50	60	0.597						
D25	3.50	208	2.897						
D25	4.00	2	0.031	杭底筋使用					
D25	4.00	60	0.955						
D25	4.50	30	0.537						
D25	5.00	275	5.472						
D25	5.50	120	2.626						
D25	6.00	76	1.814						
D25	6.50	60	1.552						
D25	7.00	164	4.569						
D25	8.50	60	2.029						
合計重量 31.117t (31117.288kg)									

(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

分別集計表

鉄筋集計結果									
品名	長さ(m)	本数	重量(t)	摘要	品名	長さ(m)	本数	重量(t)	摘要
D25	2.50	60	0.597	主筋	FB4. 5*50	ｽﾊﾟｰｻ	632	0.447	h=90 既製品
D25	3.50	208	2.897	主筋	D25	4.00	2	0.031	杭底筋使用
D25	4.00	60	0.955	主筋	D25	5.00	17	0.338	その他
D25	4.50	30	0.537	主筋					
D25	5.00	258	5.134	主筋					
D25	5.50	120	2.626	主筋					
D25	6.00	76	1.814	主筋					
D25	6.50	60	1.552	主筋					
D25	7.00	164	4.569	主筋					
D25	8.50	60	2.029	主筋					
D25	11.00	60	2.626	主筋					
D13	3.00	16	0.047	フープ					
D13	4.00	146	0.581	フープ					
D13	5.00	97	0.482	フープ					
D13	5.50	18	0.098	フープ					
D13	6.50	355	2.295	フープ					
D22	3.00	20	0.182	補強筋					
D22	4.50	17	0.232	補強筋					
D22	5.50	42	0.702	補強筋					
D22	6.50	17	0.335	補強筋					
主筋 25.340t フープ 3.505t 補強筋 1.453t スパーサ 0.447t その他 0.370t									
合計重量 31.117t (31117.288kg)									

(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

カットリスト

鉄筋カットリスト			
	D13	D22	D25
2.5 m			60
3.0 m	16	20	
3.5 m			208
4.0 m	146		62
4.5 m		17	30
5.0 m	97		275
5.5 m	18	42	120
6.0 m			76
6.5 m	355	17	60
7.0 m			164
8.5 m			60
11.0 m			60
重量合計t	3.505	1.453	25.710
総延長 m	3523.5	478	6460

FB4.5*50	2 [#] -サ A	632本	0.447 t	h=90 既製品
----------	---------------------	------	---------	----------

合計重量 31.117 t
(31117.288kg)

(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

鋼管集計表

鋼管材料集計表																			
通し 番号	鋼管径 (mm)	厚さ (mm)	鋼管長 (mm)	材質	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本重量 (t)	合計重量 (t)	S R 梁数		ビート		取付金具		外径分類		長さ分類		
									上	下	1周m	総合計m	タイプ	合計	タイプ	タイプ	タイプ	タイプ	
1	1000	12.00	6000	SKK400	2	292	1.752	3.504	3	3	3.066	36.794	2Kg	4	914"=1524	6"=12m			
合計					2			3.504				36.794							
金具集計									2Kg(12*120*180)	4		外径分類	914"=1524	2	長さ分類	6"=12m	2		

(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

No. _____

杭明細一覧表

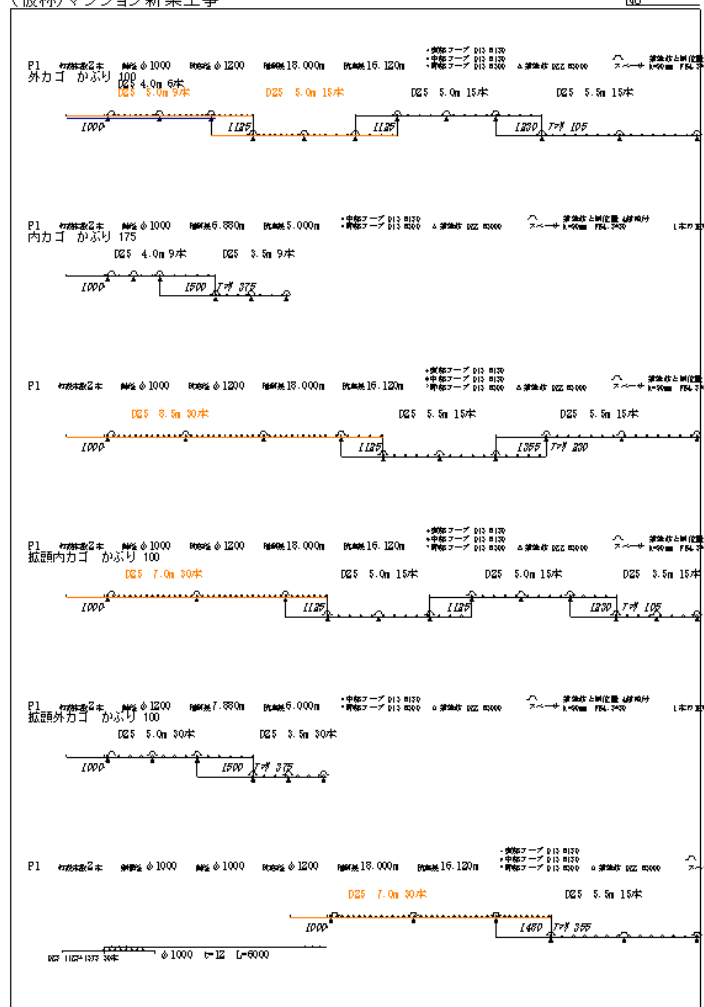
杭名	杭径 (mm)			掘削長 (m)	空掘長 (m)	杭実長 (m)	杭本数 (本)	延掘削長 (m)	延杭実長 (m)	土量ロス率 (%)	掘削土量 (m ³)	コンクリ余盛高 (mm)	生コンロス率 (%)	生コン量 (m ³)	鉄筋重量 (ton)
	頭部	軸部	拡底部												
P1		1000	1200	18.000	1.880	16.120	2	36.000	32.240	0	28.774	800	10	29.785	3.905
P1		1000	1200	18.000	1.880	16.120	2	36.000	32.240	0	28.777	800	10	29.789	4.067
P1		1200	1000	18.000	1.880	16.120	2	36.000	32.240	0	34.431	800	10	35.187	6.394
P1		1200	1000	18.000	1.880	16.120	2	36.000	32.240	0	43.020	800	10	42.545	3.463
P1		1000	1200	18.000	1.880	16.120	2	36.000	32.240	0	28.777	800	10	29.789	4.343
	1600	1200		18.000	-32.-32	50.000	1	18.000	50.000	0	20.357	800	10	83.857	8.943
合計							11	198.000	211.200		184.135			250.951	31.117

注・表示数字は小数点4桁以降切り捨て表示。

(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

(仮称)マンション新築工事



株式会社サブコンシステム

鉄筋組立一覧C

注意・主筋、フープ、補強筋は5断面には対応していない

(仮称)マンション新築工事

No.

行号 杭名 主筋径	杭径	主筋径 主筋径	主筋径 主筋径	主筋径 主筋径	打設 本数	鉄筋籠組立									主筋		フープ		補強筋		スベーサ	
						鉄筋籠組立									主筋		フープ		補強筋		スベーサ	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径
外力コ P1 1.577t	1000	1200	5000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 47	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 0	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
内力コ P1 0.376t	1000		5000	1.880 5.000 6.880	2	鉄筋籠組立									184	200	D13 ㊦300 18	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									184	200	D13 ㊦300 18	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 2.034t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 45	D22 ㊦3000	10	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦40	40	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 0	D22 ㊦3000	10	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦40	40	
拡張内力コ P1 2.019t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 40	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 1	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
拡張外力コ P1 1.179t	1200		6000	1.880 6.000 7.880	2	鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 22	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 22	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 3.484t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 40	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 1	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 1.997t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									62	108	D13 ㊦150 40	異径 D22 3	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48		
						鉄筋籠組立									87	108	D13 ㊦150 1	異径 D22 9	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48		
8.943t	1600	1200	5000	-32.000 50.000 8.000 18.000	1	鉄筋籠組立									81	104	D13 ㊦150 -	D22 ㊦3000	-	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦120	120	
						鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 -	D22 ㊦3000	-	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦120	120	

株式会社サブエシステム

鉄筋組立一覧D

(仮称)マンション新築工事

No.

行号 杭名 主筋径	杭径	主筋径 主筋径	主筋径 主筋径	主筋径 主筋径	打設 本数	鉄筋籠組立									主筋		フープ		補強筋		スベーサ	
						鉄筋籠組立									主筋		フープ		補強筋		スベーサ	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径	主筋径
外力コ P1 1.577t	1000	1200	5000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 47	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 0	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
内力コ P1 0.376t	1000		5000	1.880 5.000 6.880	2	鉄筋籠組立									184	200	D13 ㊦300 18	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									184	200	D13 ㊦300 18	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 2.034t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 45	D22 ㊦3000	10	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦40	40	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 0	D22 ㊦3000	10	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦40	40	
拡張内力コ P1 2.019t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 40	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 1	D22 ㊦3000	12	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48	
拡張外力コ P1 1.179t	1200		6000	1.880 6.000 7.880	2	鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 22	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 22	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 3.484t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									53	76	D13 ㊦150 40	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
						鉄筋籠組立									132	152	D13 ㊦150 1	D22 ㊦3000	6	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦24	24	
P1 1.997t	1000	1200	6000	1.880 16.120 18.000	2	鉄筋籠組立									62	108	D13 ㊦150 40	異径 D22 3	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48		
						鉄筋籠組立									87	108	D13 ㊦150 1	異径 D22 9	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦48	48		
8.943t	1600	1200	5000	-32.000 50.000 8.000 18.000	1	鉄筋籠組立									81	104	D13 ㊦150 -	D22 ㊦3000	-	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦120	120	
						鉄筋籠組立									74	97	D13 ㊦300 -	D22 ㊦3000	-	FE4.5F50 補強筋径 h=90 ㊦120	120	

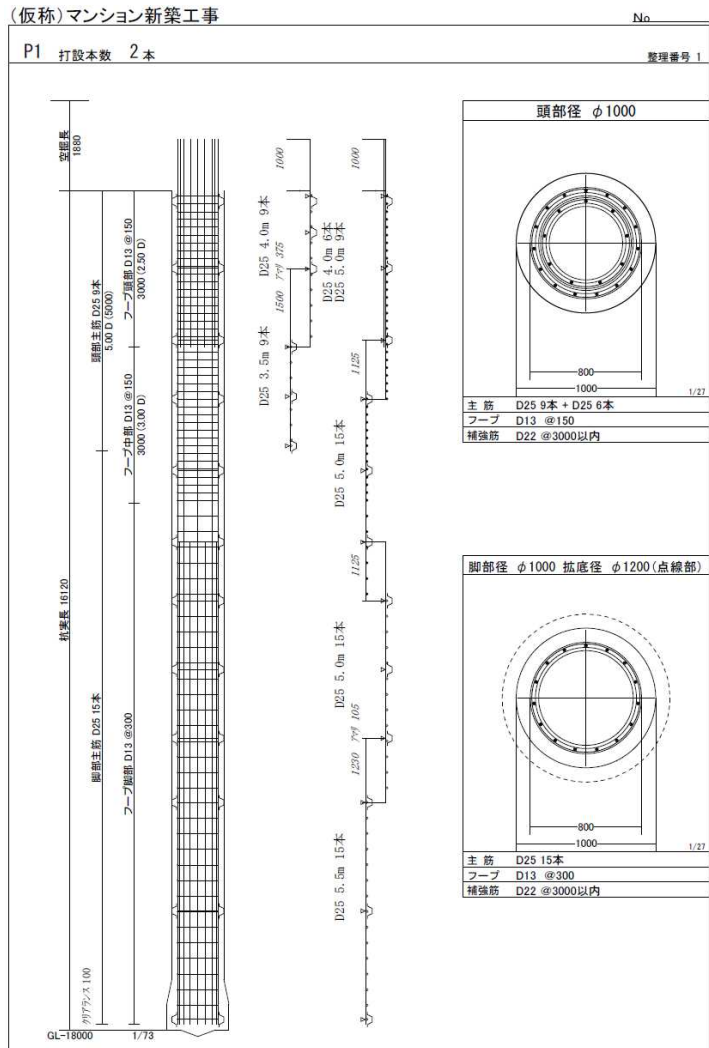
株式会社サブエシステム

No.		整理番号 1	
軸部径 φ1000 P1 拡底径 φ1200 2本			
掘削長	18,000mm	主筋アンカー長	40.0d 1000mm
空掘長	1,880mm	フープ頭部長	3.00m 2.50d
杭実長	16,120mm	フープ中部長	3.00m 3.00d
杭底クリアー	100mm	フープラップ長	40d
頭部主筋	D25 4.0m 6本 D25 5.0m 9本	フープ計算基準	直径はフープ外周 脚部主筋を基準 指定無し
脚部主筋	D25 15本	補強筋ラップ長	300mm
かぶり厚	100mm	打設生コン量	28.77m ³ ±0.5% 29.79m ³ ±0.5%
フープ頭部	D13 @150 必要長 3.033m 6.50m を 1/2カット	スタンドパイプ	無し
フープ中部	D13 @150 必要長 3.033m 6.50m を 1/2カット	材料	FB4.5*50
フープ脚部	D13 @300 必要長 3.033m 6.50m を 1/2カット	長さ(m)	5.50
スペーサ	タイプA FB4.5*50 通常面一層 4個取付 @3000 既製品	本数	98
補強筋	D22 @3000 必要長 2.575m 5.50m を 1/2カットで使用	重量(t)	0.068
重量数字は小数点4桁以下切捨て 合計 3.153 t (8193.816kg)			
拡頭		頭部フープ	27 20
拡底	拡底径 1200mm 拡底部加算体積 0.250m ³ MMT工法	中部フープ	
杭底筋	外カゴ かぶり 100mm	脚部フープ	13 15
杭底筋 杭底径 1000mm			

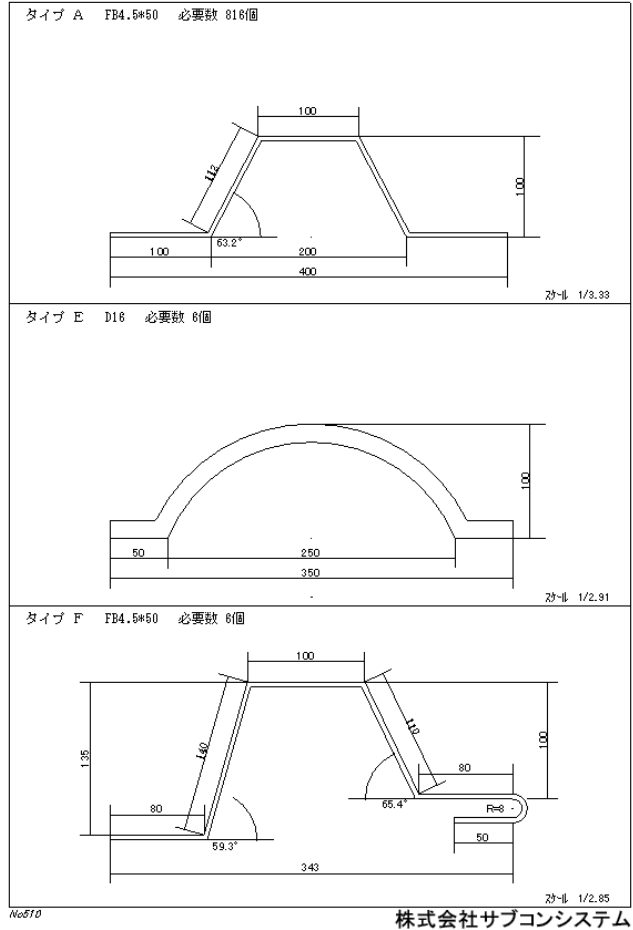
(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

姿・断面図



使用スペーサの図面と使用個数出力



510 エクセル流し込み 10/14てすと

もどる エクセル流し込み開始

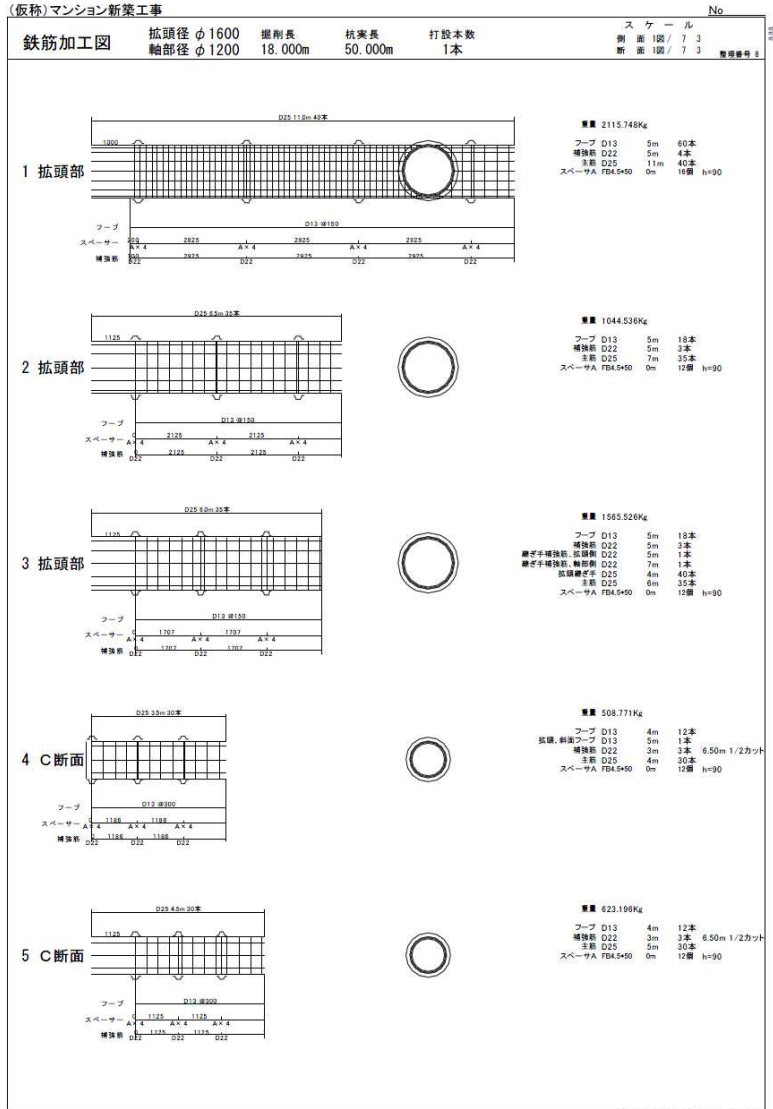
- 表題・概略
- 材料集計表
- 分別材料集計表
- 杭の概略一覧
- 杭明細一覧
- 主筋組立一覧

エクセルへの集計データ流し込み

A1		作成日																	
1	作成日	2011年	10月21日	13:58															
2	物件名	てすと																	
5	重量合計	44.404 (44404.084400Kg)																	
10	サイズ	長さ	本数	重量															
11	1 D13	5.00m	158	0.786															
12	2 D13	6.00m	126	0.752															
13	3 D13	6.50m	484	3.13															
14	4 D16	スぺーサ E	6	----	h=100														
15	5 D16	1.36m	4	0.008	杭底筋使用														
16	6 D16	6.00m	1	0.009	杭底筋使用														
17	7 D22	6.00m	18	0.328															
18	8 D22	6.50m	27	0.534															
19	9 D25	4.50m	24	0.43															
20	10 D25	5.50m	18	0.394															
21	11 D29	4.50m	20	0.454															
22	12 D29	7.00m	60	2.117															
23	13 D29	7.50m	40	1.512															
24	14 D32	4.50m	24	0.673															
25	15 D32	6.00m	118	4.411															
26	16 D32	7.00m	151	6.585															
27	17 D32	7.50m	93	4.345															
28	18 D35	6.00m	134	6.038															
29	19 D35	6.50m	100	4.882															
30	20 D35	7.50m	68	3.83															
31	21 FB4.5*50	スぺーサ A	624	----	h=100														
32	22 FB4.5*50	スぺーサ F	6	----	h=100														
33	23 FB9*65	4.50m	24	0.496															
34	24 FB9*65	5.50m	19	0.48															
35	25 L65*65*9	5.13m	3	0.123															
36	26 L65*65*9	5.17m	14	0.579															
37	27 L65*65*9	5.35m	15	0.642															
38	28 L65*65*9	5.37m	14	0.602															
39	29 L65*65*9	5.50m	6	0.264															
40																			
41	重量合計				44.404 (44404.084400Kg)														
42																			
43																			

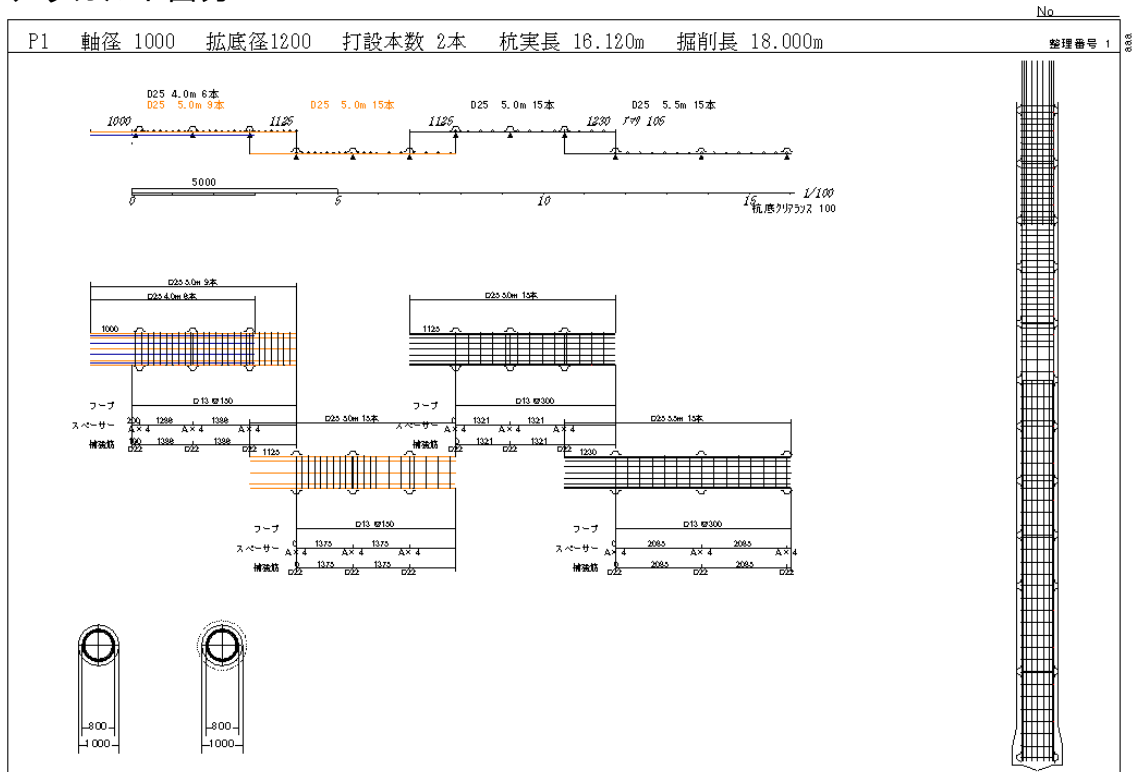
鉄筋加工図

(仮称)マンション新築工事



株式会社サブコンシステム

アラカルト出力



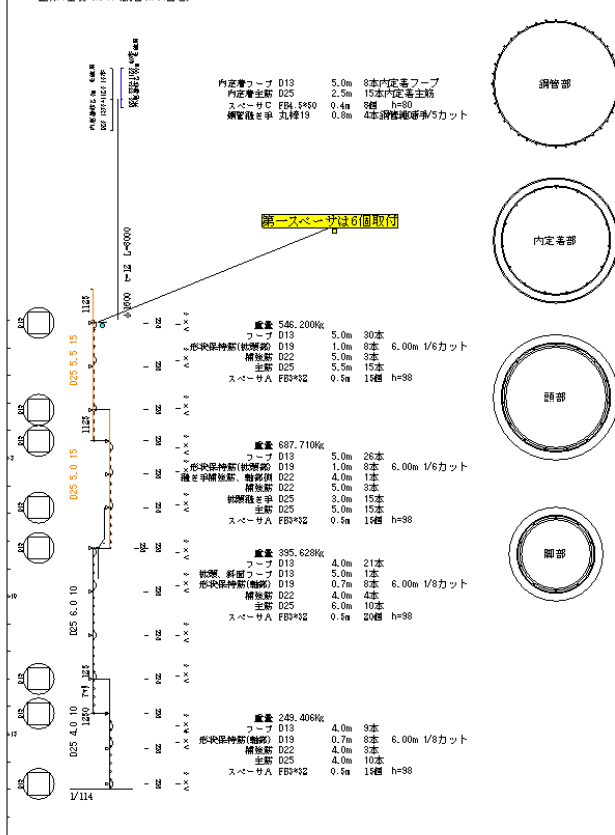
(仮称)マンション新築工事

株式会社サブコンシステム

組立指示書

サンプルマシジョン

正味1巻分 5.84t (鋼管3.76t含む)



P2 拡張部 600 1200 3本

鋼管部	25.000m	空程長	0.000m
杭束長	25.000m		
杭束み長	0mm	鋼筋間隔長	0mm
杭底クリアー	0mm	かぶり厚	100mm
余盛	500mm		
生コン量	53.26m³(1巻)	掘削土量	47.15m³(1巻)

主筋	D25 15本 5.00 D (8.00m)
脚部	D25 10本
アンカー長	45.00 d (1125mm)
ラップ長	45.00 d (1125mm) かつは上筋基準
主筋組立構成	頭部は2筋
拡張タイプ・10	333 31.00° 388 11.1.7
拡張剛	1125
拡張剛	1125 + あまり362
置き手 D25 15本 3.00m使用 (1125+388+1125+362)	
拡張剛長 16.600m (0+8250+300+8550)	
鋼部側補強筋 D22	
置き手、斜面部フープ D13 1本取付	
打設本数 3本分材料表	

D13	4.00	90	0.358
D18	5.00	195	0.970
D19	6.00	14	0.189
D22	4.00	24	0.292
D25	5.00	18	0.274
D25	2.50	45	0.448
D25	3.00	45	0.537
D25	4.00	30	0.478
D25	5.00	45	0.896
D25	5.00	45	0.895
D25	6.00	30	0.716

FB3*32	A ¹ -98	195	----	h=98 既製品
FB4.5*50	A ¹ -98	24	----	h=98 既製品
丸棒19	4.00	3	0.027	鋼管置き手
鋼管置き手取付部取付部合計 6.163t (鋼管 3.76t)				

No

鋼部フープ	D13 @ 150	5.00 (8.00m)
脚部フープ	D13 @ 300	
フープ間隔長	30.00d	
カゴごと先端に1本取り付け		
通し筋、上端下端、500mm以内はフープが2本は変えない		
頭部フープ2本に束ねる		

第一補強筋	第一補強筋	第二補強筋
第一補強筋	2.0 内 統一	D22
第二補強筋	2.0 内 統一	D22
補強筋ラップ長	300mm	
第一補強筋取付開始位置	100mm	
先端補強筋、先端部より200mm		
形状保持筋の設置あり		

スペース

スペース 主に使用 A タイプ FB3*32 h=98mm

スペース 通算断面取り付け間隔 5個

スペース 取付ピッチ 2.00m

スペース 第1スベークサ位置 100mm

スペース 通算スベークサ取付開始位置 0mm

スペース フープに取付

鋼管部側取付 1800 (1800+200)

鋼管置き手 G L=8.000m (空程 0.00m + 鋼管部 8.000m)

鋼管置き手 250

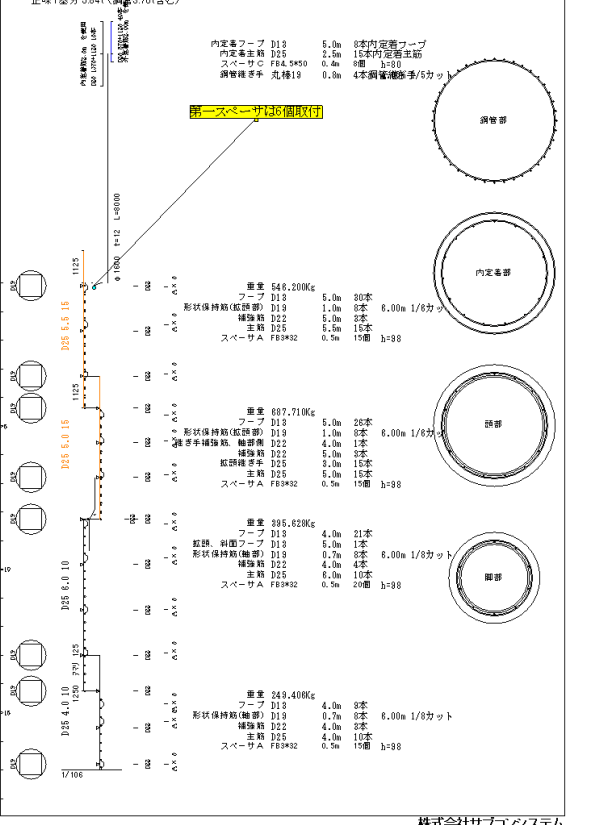
丸棒19 4.0m 1/5 cut 1本あたり 4本取付

L/19

株式会社サブコンシステム

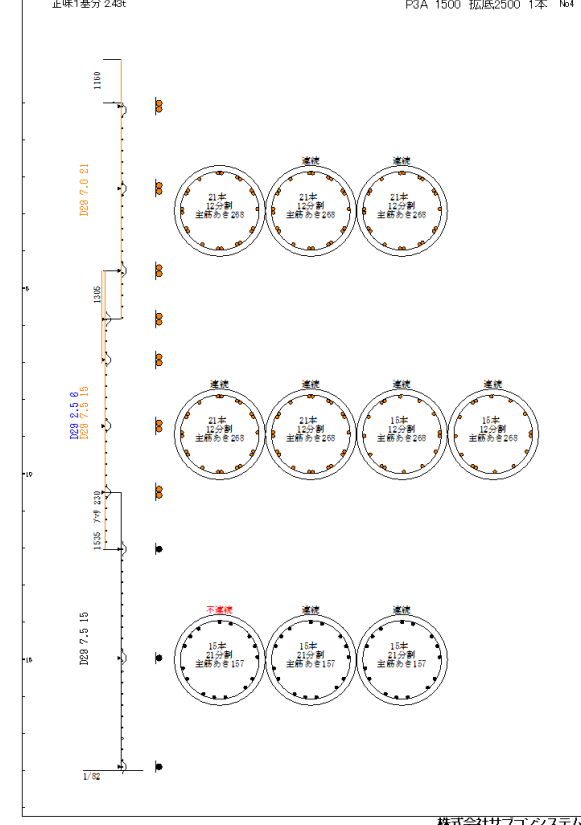
サンプルマシジョン

正味1巻分 5.84t (鋼管3.76t含む)



サンプルマシジョン

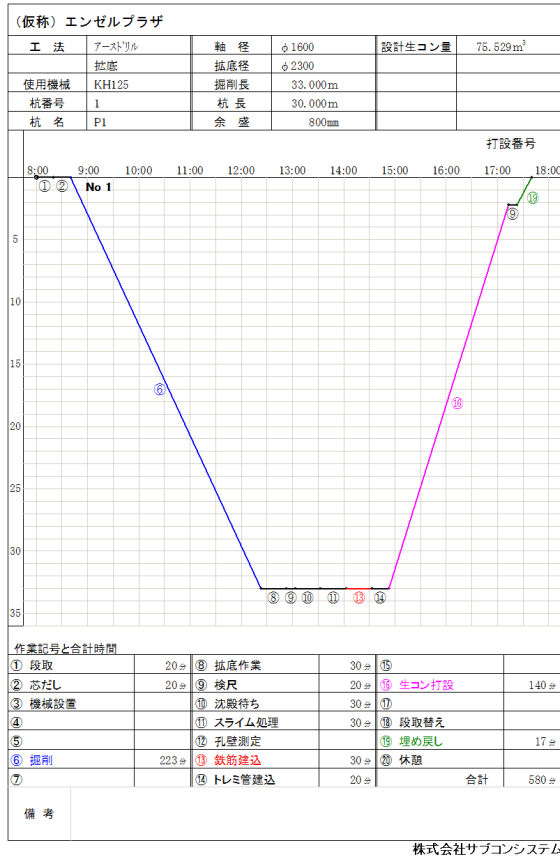
正味1巻分 2.48t



株式会社サブコンシステム

サービス外機能ではありますが、施工管理記録も同梱

鉄筋カットが終了していただければ、1物件あたり120本まで瞬時に管理記録を作製。



作業項目	単位	作業時間	時間	深度	摘要
① 段取		8:00 ~ 8:20	20分	0.0m	
② 芯だし		8:20 ~ 8:40	20分	0.0m	
③ 掘削		8:40 ~ 12:23	223分	33.0m	
④ 掘削		12:23 ~ 12:53	30分	33.0m	
⑤ 検尺		12:53 ~ 13:03	10分	33.0m	
⑥ 沈殿待ち		13:03 ~ 13:33	30分	33.0m	
⑦ スライム処理		13:33 ~ 14:03	30分	33.0m	
⑧ 鉄筋建込		14:03 ~ 14:33	30分	33.0m	
⑨ トレミ管建込		14:33 ~ 14:53	20分	33.0m	
⑩ 生コン打設	m ³	14:53 ~ 17:13	140分	2.2m	
⑪ 検尺		17:13 ~ 17:23	10分	2.2m	
⑫ 埋め戻し		17:23 ~ 17:40	17分	0.0m	

杭打ち機械別に作業工程を作製しておけば、記録済みの鉄筋カットから土量、生コン量を取り出すことにより、グラフは自動作製される。

杭種別設定 No.45 (仮称)エンゼルプラザ南田山新築工事

もどる 杭 設定 管理表 グラフ << 1 >>

PI φ1600 30,000m 耐震杭

1枚に複数本を設定しない

グラフの自動変更 ON

工法1 アースドリル
工法2 掘削 ON
掘削途中で「ケージ建込」を1箇所自動挿入 しない

使用機械1 KH125
使用機械2 OFF

杭番号 1 杭名 P1

1時間当たりの掘削量 20.0m³ 74.26m³ 222.78分

作業時間 8:00 ~ 18:00
実作業開始時間 8:00

自動翌日繰越 ON (手動での翌日への繰越はできない)
作業開始日 記入無し
生コン打設日 記入無し

キーワード: [生コン打設]
自動作成時、表示方法 直線(一括)
自動台数増加 OFF
生コン率、搭載量 5.50m³
1台あたり、打設時間 10分

オールケーシング作業としない

この種類で使用される作業名	延べ時間	色	線種
① 段取	20分	●	0.20mm
② 芯だし	20分	●	0.20mm
③ 機械設置	0分	●	0.20mm
④	0分	●	0.20mm
⑤	0分	●	0.20mm
⑥ 掘削	223分	●	0.20mm
⑦	0分	●	0.20mm
⑧ 掘削	30分	●	0.20mm
⑨ 検尺	20分	●	0.20mm
⑩ 沈殿待ち	30分	●	0.20mm
⑪ スライム処理	30分	●	0.20mm
⑫ 孔壁測定	30分	●	0.20mm
⑬ 鉄筋建込	30分	●	0.20mm
⑭ トレミ管建込	20分	●	0.20mm
⑮	0分	●	0.20mm
⑯ 生コン打設	140分	●	0.20mm
⑰	0分	●	0.20mm
⑱ 段取替え	0分	●	0.20mm
⑲ 埋め戻し	17分	●	0.20mm
⑳ 休憩	0分	●	0.20mm

注: 上記の文字や色は、杭種別に記録されています。他の杭種別を参照してください。色や文字を変更したい場合は、作業名を変更する必要があります。作業名を変更する場合は作業名フォームで行ってください。

キーワード指定の文字が使用され、上の文字集(無)の場合、自動的にキーワード文字が挿入されています。この場合、挿入された文字は、作業名に強制変更され、作業名に反映され、作業名に反映された文字は、この状態で記録されます。

埋め戻し文字は強制使用 する

個別作業について、追加、削除、作業時間の変更は可能。

管理表 No.45 (仮称)エンゼルプラザ南田山新築工事

もどる 杭 設定 管理表 グラフ << 1 >> PI φ1600 30,000m 耐震杭

ステップ数 12 ロス10% 計算生コン量 75.53m³ 作業日数 1日

生コン車台数 0台 実使用生コン量 0.00m³ 総作業時間 580分

自動台数増加OFF 丸数字の印刷表示 ON/OFF

作業内容	数字	単位	時間1	時間2	作業時間	深度
① 段取			8:00	8:20	20分	0.000m
② 芯だし			8:20	8:40	20分	0.000m
③ 掘削			8:40	12:23	223分	33.000m
④ 掘削			12:23	12:53	30分	33.000m
⑤ 検尺			12:53	13:03	10分	33.000m
⑥ 沈殿待ち			13:03	13:33	30分	33.000m
⑦ スライム処理			13:33	14:03	30分	33.000m
⑧ 鉄筋建込			14:03	14:33	30分	33.000m
⑨ トレミ管建込			14:33	14:53	20分	33.000m
⑩ 生コン打設		m ³	14:53	17:13	140分	2.200m
⑪ 検尺			17:13	17:23	10分	2.200m
⑫ 埋め戻し			17:23	17:40	17分	0.000m
終了						

機能概略はここまでですが、ここで説明されていない機能は沢山あります。

実際に使用しながら機能を得とくして下さい。

とりあえずは、簡単なストレート杭からがベターと思います。

「体験版」はインストール後30日間作動します。延長をご希望の場合パソコンを作動させた状態でサブコンシステムまで電話下さい。延長作業を行います。

特殊な杭や複雑な設定のある杭は電話での対応ができない場合があります。当システムには物件データをメールで送受信する機能があり、この機能を使用し、当社にデータ送信しますと同じものが再現され、問題解決は早まります。

当ソフトは多くの図面に対応していますが、不足な部分はまだ多くあります。

有料のシステムメンテナンスサービスを受けている場合、ソフトの改良希望など有りましたらご連絡下さい。

打ち合わせの上、当社が必要と認め、追加可能であれば無料で機能追加します。ただし、追加機能はサブコンを使用している他社にも提供されます。

現在当システムを使用中の主要企業

大洋基礎株式会社 日特建設株式会社東京支店 長江建材工業株式会社
株式会社角藤 大亜ソイル株式会社 ジャパンパイル株式会社
株式会社双葉資材 東洋テクノ株式会社 豊栄産業株式会社 日興基礎株式会社
植田基工株式会社 青山機工株式会社 敬産興業株式会社 株式会社江機
三谷エンジニアリング株式会社 株式会社佐藤企業 金城重機株式会社
三瓶重機建設株式会社 堀江工業株式会社 上原成商事株式会社
第一建設機工株式会社 株式会社ハヤブサ 株式会社岡田組 株式会社ミヨシ
丸幸商事株式会社 成幸利根株式会社 株式会社ユーシン 株式会社栄光
株式会社野中開発 株式会社若佐

使用制限

富士通のパソコンは作動障害が発生する可能性があります。

作動が遅くなる、エラーが発生し作動停止する
新規買い替え時には極力、富士通以外のパソコンにして下さい。

Windows7、Windows8、**64ビット版**、には対応済みです。

複数のパソコンにサブコンシステムを入れてのUSBキーの使い回しは出来ません。
正規版が作動するのは最初にキーを入れる1台のパソコンのみです。
パソコンの新規買い替えには対応しています。

使用に当たっての注意

正規版として作動するにはUSBのキーが必要です。購入時にお渡ししますが、再発行しませんので大事に保管してください。

当ソフトは善良な注意の元に作成されていますが、プログラムミス(瑕疵)が有る事を念頭に入れご使用願います。欠陥が指摘された場合、修復可能な場合は修復いたしますが、修復できないと判断された場合はご容赦下さい。(買取の場合サービス期間は60日です。)

また、サブコンシステムが販売もしくは提供するものは電子情報であり、パソコンやその周辺機器の作動、機器上での作動を保証するものではありません。

出力されたものは、ご自身の責任にて確認、使用願います。

使用限界

登録物件数、最大3000物件(最大1.5ギガ使用)

1物件の最大登録杭種 80種(物件集合の機能あり)

1杭種の最大組立鉄筋 12筋

1筋あたりフープ本数 200箇所

1筋あたり補強筋 10箇所